

「日本デー2019」（ドイツ・デュッセルドルフ）出展レポート

イベント名	第18回デュッセルドルフ/NRW 日本デー (Japan-Tag Düsseldorf/NRW)
日時	2019年5月25日(土)
場所	ドイツ・デュッセルドルフ市 ライン川岸
主催者	・デュッセルドルフ/NRW 日本デー協会 (デュッセルドルフ日本商工会議所、デュッセルドルフ日本クラブ) ・ノルトライン・ヴェストファーレン州経済・イノベーション・デジタル化・エネルギー省 ・ノルトライン・ヴェストファーレン州経済振興公社 ・デュッセルドルフ市
参加者数	約60万人(主催者発表)
ホームページ	http://www.japantag-duesseldorf-nrw.de/

1 イベント概要

★日本デーとは

日本デーはドイツ・デュッセルドルフ市のライン川沿いを会場に、日本文化を紹介する場として2002年から始まりました。日本企業や現地の事業者、交流団体などによる多数の展示・体験・販売ブースの出展や、ステージでの日本に関わる音楽や舞踊のパフォーマンス、カラオケ大会、コスプレファッションコンテスト等、幅広く日本文化を楽しめる内容となっています。また、日本デー開催近辺の日程で、日独の経済シンポジウムや、博物館における日本関連の展示会など、多くの関連行事も開催されます。単なる現地在住日本人によるイベントではなく、強い集客力を持つデュッセルドルフ市の春の一大イベントとして現地に受け入れられています。なお、当日は、デュッセルドルフ市やノルトライン・ヴェストファーレン州と交流のある千葉県、福島県の単独ブースのほか、滋賀県、横浜市、東京都大田区のブースも、在デュッセルドルフ日本国総領事館及びJNTO フランクフルト事務所合同ブースにおいて出展を行っていました。

★日本デー来場者

日本のポップカルチャーに関心を持つ若者から訪日旅行を計画中の家族連れ、日本の伝統文化に興味があるお年寄り等幅広い層のお客さんが、会場のライン川沿いの遊歩道やブルク広場を埋め尽くすほど来場します。来場者の大多数は日本文化に興味のあるドイツの方です。イベント開始時間は12時からですが、10時頃にはすでにたくさんの方が会場付近を散策していました。



★デュッセルドルフ

デュッセルドルフ市はドイツの北西部ノルトライン＝ヴェストファーレン州の州都で、人口約 60 万人の西ドイツを代表する都市です。日系企業にとってのビジネス環境はドイツ国内でも最大規模であり、デュッセルドルフ市によれば、現在約 400 の日系企業の本社機能が集まっているとのこと。また、欧州屈指の日本人コミュニティがある街としても知られています。

2. 当事務所ブース

★出展内容

当事務所のブースでは、

- (1) 各自治体提供のパンフレットの配布、ポスターの展示による日本各地域の PR
- (2) 訪日旅行と訪欧旅行における予算や旅行期間の違いについてのアンケートの実施
及びポストカード、ゆるキャラグッズ等のノベルティの配布

などを行いました。ブースには数多くの方が来場し、パンフレットとポスターも終了予定時刻より早くなくなりました。



★パンフレット・ポスターについて

日本デーの来場者はロンドン等のイベント来場者に比べて紙媒体資料（パンフレットやポスター）を好む方が多く、机上にパンフレットを並べると、イベント開始前にも関わらず次々と来場者が訪れ、パンフレットを手にとっていました。ポスターも、持ち帰りたいので取り置きできるかとの質問も受けました。

英語パンフレットでも手にとってもらえますが、やはりドイツ語パンフレットの人気には及ばないため、特にドイツでの PR を考えている自治体はドイツ語パンフレットを作成することをおすすめします。なお、今回のクリアブースでは、JNTO フランクフルト事務所の

ご協力を仰ぎ、ドイツ語版の日本概要資料と地図を併用しながら各自治体の観光PRを行いました。

また、日本に一度も訪れたことがない来場者に手にとってもらうためには、自然や温泉、サイクリング、その地域にゆかりのある戦国武将など、印象的な写真や絵を表紙に掲載し、視覚に訴えるパンフレットが効果的であるようです。一方で、具体的にどの地域に焦点を当てた内容か、一目でわかる内容にすることも大切です。

来場者からの主な質問は以下のとおりでした。

- ・サイクリング、ハイキングに行きたいがどこがよいか
- ・東京へ車いすの子どもを連れて行くがバリアフリーに関する情報はどこで得られるか
- ・東京近郊の観光はどこがよいか
- ・日本に3回目にいくとしたらどこがよいか
- ・織田信長が関係する場所はどこか
- ・避暑地としての観光地はどこか
- ・ベジタリアン向けのおすすめの食べ物は何か

なお、来場者の中には、来年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて日本へ旅行するという人も多くいました。来年の展覧にあたっては、五輪開催直前であることから、東京都内およびその近郊について、会場アクセスや各種情報窓口といった、より詳細な情報について聞かれることが予想されます。

3 その他出展者情報等

日本の自治体関係では、千葉県、福島県が単独ブースを設置していました。

千葉県とデュッセルドルフ市は2005年から、音楽、スポーツ、学術研究など様々な分野で交流を続けてきましたが、この日、デュッセルドルフのガイゼル市長と森田健作千葉県知事が姉妹提携合意書に署名を行いました。日本デーのオープニングイベントでは森田知事が登壇するとともに、千葉県ブースにおいて観光PRを行いました。

福島県は、NRW州と再生可能エネルギー及び医療関連産業の分野で産学連携事業での経済交流を進めており、当日は、地域に根差した取り組みについて紹介しながら、福島県の日本酒を使ったお菓子を提供するなどユニークなPRで人気を博していました。



(福島県ブース)

4 終わりに

当事務所の日本デーへの出展は今年度で6回目となりましたが、本出展事業を通して、1

人でも多くの方が日本の自治体に興味を持ち、実際に訪問していただければと思います。
※会場でのアンケート実施結果は別紙をご覧ください。

